

鳥羽市全員協議会会議録

平成29年9月26日

○出席議員（13名）

1番	奥村 敦	2番	片岡直博
3番	河村 孝	4番	山本哲也
5番	木下 順一	6番	井村行夫
7番	中世古 泉	8番	戸上 健
9番	浜口 一利	10番	坂倉 広子
11番	世古安秀	13番	尾崎 幹
14番	坂倉紀男		

○欠席議員（1名）

12番 橋本 真一郎

○職務のために出席した事務局職員

事務局長	濱口博也	次長 兼庶務係長 兼議事係長	上村 純
書記	中山真緒		

(午前11時42分 再開)

○浜口一利議長 予算決算委員会に引き続き、ご苦勞様でございます。

ただいまから全員協議会を再開いたします。

本日の案件につきましては、お手元に配付してあります事項書のとおりでございます。

それでは、議事に入ります。

協議事項1、議会からの報告事項についてであります。

それでは、①鳥羽市海女のまち条例について、ワーキングリーダーであります戸上議員に説明をお願いします。

戸上議員。

○戸上 健議員 それでは、議員の皆さんにご報告いたします。

我々ワーキング委員会、6月26日に選定されまして、きのう、9月25日までに5回のワーキング委員会を開催してまいりました。最終的に、皆さんのお手元に配りました鳥羽市海女のまち条例と、海女さん全力応援宣言、これを確定いたしましたのでご報告したいと思います。きょうは、この鳥羽市海女のまち条例を、最終的に議会としてこれでいこうということをご確認願いたいというふうに思います。

この間、原案を素案をパブリックコメントして、市民の皆さんに提起してきました。非常にこれは反応が多くて、別紙資料にありますように最終回収数196人と。これまでの鳥羽市のさまざまな条例制定でパブリックコメントをやってきましたけれども、せいぜいゼロから5件ぐらいです。この100単位で集まったというのはかつてありません。それだけ市民の関心が非常に高かったということです。

この回答の中には、ご意見、ご感想をお書きくださいというので、その中に「海女のための条例を立ち上げていただき、とても海女たちにとってはうれしいことです。鳥羽の海女は強く、優しく、しっかり者。これからの若者たちが海女を目指してくれるのを望みたいと思います」と、こういう文言もございました。

ワーキングでは、単に決めるだけではなくて、幅広く市民の皆さんにパブリックコメントと一緒に共有していただくということになりました。これは山本議員の提案だったんですけれども、そこでショッピングセンターハローさんをお願いをして、このアンケートのコーナーを設けていただきました。また、マリナーミナルにもこのコーナーを設けていただいて、皆さんから寄せていただきました。各出張所にもこれを置かせていただきました。その結果、これだけの反響がありました。

今回は条例文と同時に、お手元に配付してあります海女さん全力応援宣言、これを、この二つを議会として提起することになりました。条例文についてはきょうご確認願いますけれども、この海女さん全力応援宣言については、これは我々ワーキングとしても確認しましたので、皆さんのほうでもご確認だけお願いしたいと思います。これは河村議員から提案がありまして、これはぜひやろうということになりました。これをさらに山本委員と事務局のほうでデザインを考えてもらったんですけれども、さらに見出しもちょっと黒いのだけでは、もうちょっとインパクトのあるようなものにしようということになりまして、改善をこれからしますけれども、パネルにして海女小屋に配って張っていただいたり、市内各地の公共施設に張って、そして鳥羽のまち、海女さんをみんなで全力で応援しようという空気をこれからも盛り上げていきたいというふうに思っています。

議長、以上です。

○浜口一利議長 戸上委員の説明は終わりましたけれども、補足はよろしいか。

それでは、この件につきまして質問とかご意見があれば伺いたいと思いますけれども、どうでしょうか。

尾崎議員。

○尾崎 幹議員 このアンケートの中に資源保護という言葉がかなり出てきますよね。その中で、市の役割のほうには資源保護と入っているんですけども、やっぱり自然のものですから管理という部分がもうほとんどないんですけども、管理という言葉がやっぱり保護にもつながるし、意識を、管理していかなあかんのやと、保護するだけではだめなんやと、管理というもので後世に物事が残るといふ部分をどこかで入れてもらえればありがたいなと。市の役割と海女さんの協力の中に資源管理という部分があることによって、皆さん平等で公平な、漁獲高がまたとれたりとか、そこは議論が、どうでしょう。要らんこと言うとかあきまへんかね。

○浜口一利議長 戸上委員。

○戸上 健議員 ワーキングでもいろいろな意見になりました。管理もそうなんですけれども、そこにありますように、第2条の市の役割の括弧の1に資源保護と漁業環境の整備というふうになってあります。その漁業環境の整備で全体を大きくくりして、管理も入れるし、本来であれば資源保護もここに入れるんですけども、ここでうたっております。理念条例ですので、もう細部にわたってあれもこれも入れるというんじゃないしに、漁場環境、この整備ということで大きくくりしようということになりました。

何であえて資源保護というのをつけ加えたかといいますと、これはパブリックコメントの中で資源保護ということが出ました。それで、せっかく市民の皆さんのご提案なのでこれを取り入れようということで、あえて取り入れました。

それから、もう一つつけ加えますと、この鳥羽市海女のまち条例というネーミングです。それで、このネーミングについても、そこに10のネーミングを用意して、そしてこれもパブリックコメントで市民の皆さんから投票をしていただきました。その投票結果で第1位になりましたのが5番目の海女のまち条例です。ですので、ワーキングの中ではさまざまな意見が出ましたけれども、やっぱり市民の皆さんがこれが一番いいと、一番トップだったネーミングに落ちついたということです。ですから、そのあたりをぜひご理解いただきたいというふうに思います。

以上です。

○浜口一利議長 尾崎議員、よろしいか。

事務局長。ただいまの質問に対して補足……

○濱口事務局長 補足させていただきます。

海女さんの資源保護の意識という部分についてのご意見だと思うんですが、その辺は十分、市の役割の部分でそういった保護について海女さんにも周知しながら努めていったらいいじゃないかということで、ここにもう、市の役割のほうに資源保護ということを訴えているということも含めて入れさせていただいたということです。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 そこなんですよ。一番に海女が将来にわたって持続せなあかんわけですから、保護という部分

の中にもやっぱりもう一つ踏み込んで管理ということが入ることによって、後世に長くこの仕事が続くという部分まで入れることが、やっぱり皆さんの周知がより一層わかるんじゃないかと。海女さんをみんなで保護せないかんねやと。それだけでなくも資源がないという部分に関して、保護、管理というが、結構使われる言葉かなと。保護だけじゃなしに管理を入れる、鳥羽市の役割ですよ。鳥羽市の役割にそれを入れることによって皆さんの協力が、いや、泳いどって海岸行ってアワビおって、とらんかというから、これは管理されとんやという、保護されとんやという意識を二重でどうかなと思っていますので、そこら辺皆さんに考えを聞いてもらうて、もしかいかんねやったら保護だけでも結構です。

以上です。

○浜口一利議長 ただいま尾崎議員のほうから管理という部分をどうするかというような意見が出ていますけれども、私もちょっと意見言うてもええかな。

管理、資源保護と漁業環境のということで、その中で含まれるという、大きくりの部分では、私はそれでいいと思うんですけども、管理となってくるとやはり共同漁業権の管理という部分と絡まってきますもので、市がやっていいかどうかという部分というのがあると思う。漁協の範疇になってくるということですので、そういうことでいいと思います。

それでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利議長 他にございませんか。ほかにございませんか、これについて。どうでしょうか。

(「ないです」の声あり)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件は終了いたしたいと思います。

ただいまの件につきましては、10月2日の本会議で議員発議により上程を予定しておりますので、よろしくお願いをいたします。

以上で本日の協議事項は全部終了いたしました。

これをもちまして全員協議会を散会いたします。

ご苦労さまでした。

(午前11時53分 散会)

議長はこの会議録をつくりここに署名する。

平成29年9月26日

鳥羽市議会議長 浜 口 一 利